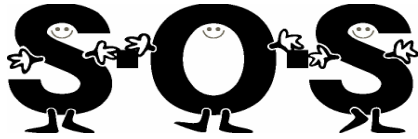


vol. 98通信 (平成20年10月10日発行)



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113 〒496-0036  
代表TEL：(0567)26-3921  
FAX：(0567)26-3922  
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

＜秋祭り/S・O・S・・・地域とのつながり＞



「ワッショイ、チロリン！」という可愛い掛け声や鐘の音と共に、秋祭りの子供獅子がやってきました。毎年恒例の風景です。お揃いのハッピー姿がとても可愛く、待ち構えていた利用者さんは笑顔で出迎えました。「小さな子供が大きな獅子頭を持って凜々しいねえ」と感心したり感動したり・・・子供達から元気をもらったようです。

＜外食デイ/ナイス・デイ&ホーム＞

毎月10日は外食デイの日。希望者でお昼ご飯を食べに出かけます。今回は和食のお店へ。場所が変わると気分も変わり、話が弾みます。いつも以上に食が進むと感じる人もいます。皆で決めるお店選びも楽しみの一つ。新しいお店や行ったことのないお店にも興味津々です。皆さんのお薦めのお店があれば、是非教えてください。



＜いくつになっても現役/つしま紹介所＞

「家政婦さんは年配の人が多いのね」という声を時々耳にします。確かにつしま紹介所に登録している家政婦さんは60、70代で現役の方が大半です。(もちろんフレッシュな若手世代の家政婦さんもいますよ)ベテランで経験豊富な家政婦さんが多く、若手のヘルパー達に体の拭き方やオムツの当て方等を教えてくれたりする先生のような存在です。泊り込み等にも対応し、若い世代に負けないバイタリティがあり、それぞれの業務をこなしています。いくつになっても現役で頑張る家政婦さんに元気をもらい頼りにしている利用者さんやご家族も沢山みえます。

今回は成年後見制度についてのお話です。人権擁護のための制度として覚えておくと、いざと言うときに役に立つかもしれません。

認知症や知的障害、精神障害などで物事を判断することが難しくなったとき、不動産や預貯金などを管理したり、介護サービスや施設入所に関する契約を結んだりする手続きに困ることがあります。判断が出来ずに契約を結んでしまい、悪徳商法の被害に遭うおそれもあります。このような人を保護し、支援するのが「成年後見制度」です。成年後見制度には大きく分けて二つあります。

**法定後見制度**：成年後見人等(成年後見人・保佐人・補助人)が、本人を代理して契約などの法律行為をしたり、不利益な法律行為を後から取り消したりすることで、本人を保護・支援するもの。成年後見人等は、「本人にどのような保護や支援が必要か」等の事情に応じて家庭裁判所が選任し、本人の親族以外にも法律・福祉の専門家、その他の第三者や、福祉関係の公益法人その他の法人が選ばれる場合があります。**後見・補佐・補助**は判断能力の程度など本人の事情に応じて選べるようになっており、代理権や取り消しをできる行為の範囲が変わってきます。

また、この制度を利用する場合、申し立てを行うことができるのは、本人、配偶者、四親等内の親族、検察官や市町村長(身寄りの無い人のため)です。

**任意後見制度**：本人に判断能力があるうちに、将来、判断能力が不十分な状態になった場合に備えて、あらかじめ自らが選んだ代理人(任意後見人)に代理権を与える契約を公正証書で結んでおくもの。本人の判断能力が低下したとき、任意後見人が家庭裁判所の監督のもとで契約をすると、本人の意思に従った適切な保護や支援が可能になります。

↓ みたらし団子

＜食欲の秋/ナイス・デイ＞

↓ ところてん



食べ物が美味しい季節の到来です。夏には食欲のなかった人も徐々に戻りつつあります。←粉をこねて出来たのは、みたらし団子。みんなでペロペロとなめて味見しながら作った甘辛たれが大好評でした。「懐かしいね」と評判だったのが「ところてん」→自分の分を「ところてん突き」で突いていただきました。食いしん坊さんには毎日のメニューが楽しい食欲の秋。でも食べ過ぎにはご注意ください。



＜夕食の後で/愛宕の家＞

「出来るうちは何でもやるよ」とスタッフと一緒にお鍋を洗うのはMさんです。最近、寒暖の差が大きいせいか体調を崩す入居者の方もいます。その人達を気遣いながら「仕事があつて体を動かす方が元気な気がする」という言葉には、頷くばかりです。



＜お手伝い/社内託児＞

大人のしていることには何でも興味を持ち、真似をしたいお年頃のS君。今日は洗濯物を乾燥機に入れるお手伝いをしています。一生懸命背伸びをして、せっせとタオルを乾燥機に入れてくれました。彼にはもうすぐ妹が生まれる予定です。「もうじきお兄ちゃんだね！」と言われると、いつも以上に張り切って頑張っちゃうS君なのでした。



＜コスモス畑へ/ナイス・デイ&ナイス・ホーム＞



「こんな天気の良い日はどこかに出かけなきゃ！」という誰かの一声で木曾三川公園のコスモス畑にお出かけです。疲れた人から順番に交代で車椅子に乗り、心地よい日差しの中を歩きました。色とりどりのコスモスを眺めながらベンチで食べるおやつは格別。また来ようね♪

＜井戸端会議/ナイス・ホーム＞

夕方も近づき、「そろそろ帰りの車に乗りましょうか」という頃、外の階段にちょこんと腰掛けて女同士の井戸端会議が始まりました。「あんたも来やあ」と引っ張られたスタッフも一緒になってにぎやかな場になりました。ナイス・ホームには井戸端会議の達人が集まっています。



＜編集後記＞

社外で開催される研修会に、スタッフはそれぞれ参加しています。内容は「介護事故&ヒヤリハット」「記録・報告技術」「認知症のケア」「感染症予防」といったものから「介護計画書作成」等の専門的なものまで多種多様。参加すると他の事業所の方々と話をする機会もあり、講義以外の刺激を受けることも多くあります。最近の介護業界について話し合うこともしばしば。私達がすべきことは、必要な知識と技術を身につけ、本人、ご家族や関係者等と連携を取りながら生きていくためのお手伝いをしていくこと。当たり前のことを地道に行うことがこれからは繋がると信じています。(M)